

日本学術振興会
学術システム研究センター
農学・環境学班 専門研究員報告

前田幸嗣（九州大学）

農業経済学関連学会協議会
2022年3月27日

報告の流れ

1. 科研費の主な制度変更
2. 科研費の応募・採択状況
3. 日本学術振興会賞・育志賞受賞候補者の推薦

科研費の主な制度変更

1. 公募・内定時期の早期化（基盤A・B・C、若手）
 - 前年度のうちに審査結果が通知されることで、研究スタッフの継続雇用や物品調達準備、出張の調整等の事前手続きが前年度中に実施できる
 - 公募開始 7～8月
 - 審査結果通知 2月（挑戦は6月）
 - 交付内定 4月（挑戦は6月）
2. 挑戦（萌芽）を総合審査から2段階書面審査へ
 - 1段階目の書面審査の集計結果をもとに、他の委員の審査意見も参考に電子システム上で2段階目の評点を付し、採否を決定（審査委員は1段階目と同一）

3

科研費の応募・採択状況（新規）

○データの集計方法

2018～2021年度

- 基盤研究(A)、挑戦的研究（開拓）、挑戦的研究（萌芽）
 - 社会経済農学、農業工学およびその関連分野
- 基盤研究(B)、基盤研究(C)、若手研究
 - 食料農業経済関連、農業社会構造関連の合計

2013～2017年度

- 基盤研究(A)（一般、海外の合計）、基盤研究(B)（一般、海外の合計）、基盤研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(A、Bの合計）
 - 社会経済農学（経営・経済農学、社会・開発農学の合計）

4

基盤A・B・Cの推移

基盤A	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	3	7	6	7	8	25	26	26	32
採択件数	1	2	1	1	2	6	6	6	8
採択率(%)	33.3	28.6	16.7	14.3	25.0	24.0	23.1	23.1	25.0

← 25%程度

基盤B	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	44	48	46	41	50	38	32	43	41
採択件数	11	11	11	8	12	11	12	13	13
採択率(%)	25.0	22.9	23.9	19.5	24.0	28.9	37.5	30.2	31.7

← 30%程度(増加)

基盤C	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	117	116	126	127	125	124	139	144	113
採択件数	37	36	39	40	38	36	40	43	33
採択率(%)	31.6	31.0	31.0	31.5	30.4	29.0	28.8	29.9	29.2

← 30%程度

5

挑戦（開拓・萌芽）・若手の推移

挑戦（開拓）						2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数						13	7	23	16
採択件数						1	1	2	2
採択率(%)						7.7	14.3	8.7	12.5

← 10%程度

挑戦（萌芽）	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	32	29	37	52		74	81	91	96
採択件数	9	8	10	11		9	10	11	15
採択率(%)	28.1	27.6	27.0	21.2		12.2	12.3	12.1	15.6

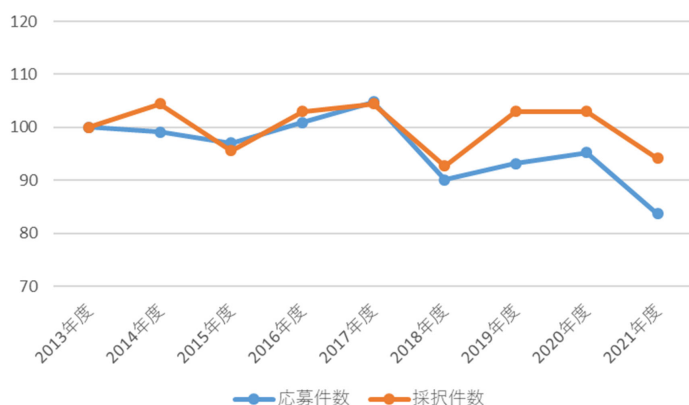
← 15%程度

若手	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
応募件数	71	66	53	66	68	47	45	34	40
採択件数	20	24	15	22	21	16	18	14	18
採択率(%)	28.2	36.4	28.3	33.3	30.9	34.0	40.0	41.2	45.0

← 40%程度(増加)

6

基盤B・C・若手の合計件数 (2013年度 = 100)



- ・ 応募件数は減少傾向
- ・ 採択率上昇により、採択件数は横ばい

応募件数の減少が続くと…

- ・ 合同審査、審査区分見直しの懸念
- ・ 応募件数を増やすのが課題

7

日本学術振興会賞・育志賞 受賞候補者の推薦

○推薦権者

学振賞

- 1) 機関長推薦 我が国の大学等研究機関又は学協会の長
- 2) 個人推薦 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（海外在住の日本国籍を有する学術研究者を含む）

育志賞

- 1) 我が国の大学の長（大学長推薦）
- 2) 我が国の学術団体（日本学術会議協力学術研究団体に限る）の長（学会長推薦）



学会からの積極的な推薦をお願いしたい

8